

令和7年度

事業計画

社会福祉法人 品川総合福祉センター

令和7年度 事業計画

目 次

法人事業計画（全体）	2
法人本部	3
事務局地域福祉課	4
【高齢者事業所】	
かえで荘	5
品川区立中延特別養護老人ホーム	6
品川区立八潮南特別養護老人ホーム	7
品川区立グループホーム八潮南	8
品川区立中延在宅サービスセンター	9
品川区立八潮在宅サービスセンター	10
品川区立大井在宅サービスセンター	11
品川区在宅介護支援センター（中延・八潮・大井・大井第二）	12

【障害者事業所】	
かもめ園 知的部門	13
かもめ園 身体部門	14
サンかもめ 生活介護	15
品川区立心身障害者福祉会館（生活介護）	16
品川区立心身障害者福祉会館（自立訓練）	17
品川区旗の台障害児者相談支援センター	18
障害者計画相談支援事業所（中延・大井第二・八潮）	19
品川区障害者地域活動支援センター	20
福祉工場しながわ 就労継続支援A型	21
鮫洲なぎさの家 共同生活援助	22
さつき 就労継続支援B型	23

【保育園】	
八潮中央保育園	24
品川区立八潮北保育園	25

【公益事業】	
八潮わかくさ荘	26
大井倉田わかくさ荘	27
大井三丁目高齢者憩いの場	28

令和7年度 法人事業計画（改正案）

1. 基本方針

社会福祉法人品川総合福祉センターは、法人理念に基づき「地域における福祉の発展・充実」を使命とし、安定的・継続的・発展的経営に努めるとともに、多様な福祉課題に柔軟かつ主体的に取り組む。

2. 重要課題

- (1) 第二次未来創造図（中長期計画）の実現に向けた取り組みを継続する。第二期中期経営計画の目標達成に向けて、具体的な取り組みを進める。この取り組みを振り返り、評価したうえで第三期中期経営計画を作成する。
- (2) 中期経営計画の人権擁護、人材確保、収支改善3テーマのうち、未達成の課題、新たな課題を整理し、実施する。
 - ①利用者の尊厳を尊重し、利用者支援や職員モラルに関する問題点について職員一人ひとりの自覚を促し、専門性の高い支援と対人援助専門職としての人権意識及び倫理観の醸成を進め、引き続き虐待ゼロを継続する。
 - ②職員が生き生きとやりがいをもって働けるよう働き方改革に引き続き取り組む。特定技能人材の受け入れや職員紹介制度による人材確保に加え、各学校実習生の積極的な受け入れや離職を防ぐことを法人戦略として取り組む。
 - ③経営状況を鑑み各施設単位で稼働率の確保、コスト削減の取り組みを徹底する。各事業所の稼働状況を分析し収支を改善する。法人全体の経営課題を共有し、早期に対策を実施し、経営目標を達成する。
- (3) 法人職員で構成するタスクフォースを組成し、組織・事業を見直し経営基盤の強化を行う。
- (4) 人権擁護、コンプライアンス維持の観点で法人職員の意識を醸成する。
- (5) 個別研修計画を策定し、職員一人ひとりの能力を育成する。
- (6) ICT導入の検証を継続し、利用者安全確保と業務負担の軽減につながるICT化を進める。また、通所事業所のICT導入を進める。
- (7) 利用者が安心して生活できるよう、また、職員も安心して業務ができるように災害や感染症全般の最新情報を収集し、適切な対策を実施する。
- (8) 各施設の強みや取り組みの発信を活発化し、「地域とともに」の理念のもと品福ブランドを確立する。
- (9) 各拠点における地域ニーズ等に応じて、自主性・創意工夫の下、「地域における公益的な取り組み」を進める。
- (10) 八潮南特別養護老人ホーム増改築について、区と共に取り組む。
- (11) 福祉工場プチレーブ経営方針を作成し、収益性と継続性を高める。
- (12) 中延複合施設の大規模改修について、区と協議し準備する。

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 法人全体

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年 間 計 画	●経営改革タスクフォース											
	・キックオフ(TFメンバーおよび全管理者) ・管理者理解促進 ・TF権限付与											
	・現状分析 ・収支、組織、マネジメント、事業、人材)											
	・改善フェーズ ・TFによる改善計画、実施 ・改善優先順位決定 ・主体的に結果を出せる組織の醸成											
稼働率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
○目的 福祉・医療分野を得意とする専門コンサルタントの支援を受け、法人職員で構成するタスクフォースを組成し、組織・事業の見直し・改革による法人の経営基盤強化、事業の効率化、新たな事業展開を図る。 ・法人収支状況の分析と収支改善 ・法人組織の活性化とマネジメントサイクルの定着 ・介護・障害・児童福祉事業における収益力・利益率の向上 ・人材の確保、定着、育成のための施策立案と実行							・タスクフォースメンバーの過重負担回避およびメンバー所属職場への人的支援。 ・管理者および各職場の協力 ・実行にあたっての権限の範囲設定 ・改革への抵抗感の払拭 ・次世代への手法継承					
○現状分析 全事業所を対象に現状の見える化を実施。同時に事業所別の課題や目標設定を明確化。 ・収益分析(収益額、客単価、稼働率、入院や欠席、平均区分、加算取得など) ・利用者状況分析(新規獲得状況、利用注視状況) ・費用分析(人員配置、給食、その他経費) など							↓ ・非常勤、人材派遣職員等の雇用並びに事業所間の人員御苑体制の整備 ・管理者層・リーダー層への理解促進研修等実施。 ・タスクフォースの活動の見える化、周知、記録 ・経営改革に関する研修					
○改善フェーズ タスクフォースメンバーが権限を持ち、改善の取り組みを実施する。優先順位を決定し、管理職とともに改善を実行する。進捗管理を行い、組織が主体的に結果を出す力を醸成する。												

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 法人全体

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人権擁護(法人全体で虐待ゼロへの取組み)											
	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	人権擁護・虐待防止法人研修	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催	委員会の開催
	●人材確保											
	就職フェア参加 新規採用職員による採用プロジェクト											
	就職フェア参加 学校訪問を開始											
計画	●品福ブランドの確立に向けた取組み											
	各種催しへの参加			地域夏祭りへの参加			法人紅葉まつり等、地域開放事業				小中一貫校福祉講座	
	●第二期中期計画達成状況の評価および第三期中期計画策定											
	達成状況の確認及び評価			第二期中長期計画まとめ	第三期中長期計画案の策定を開始する			第三期中長期計画案を策定	法人全体への周知	理事会・評議員会にて報告	法人全体で共有する	
	指針の整備	研修及び訓練の実施		管理者会で共有	管理者会および経営会議			研修及び訓練の実施			事業計画作成時に内容を反映させる	
計画	●収支改善											
	経営会議		四半期状況確認			中間状況確認			四半期状況確認			年間状況確認
計画												
事業の概要							執行上の課題および改善策				備考	
●人権擁護(法人全体で虐待ゼロへの取組み)							・効果測定等、各事業所での振り返りを人権部会・虐待防止委員会で検証し、情報提供や11月の研修内容に反映させる					
・法人全体研修の実施							・各事業所での利用者特性に合わせた振り返りの機会を設定し、全体の状況を四半期ごとに報告する					
・虐待防止委員会の運営							・事務局及び各群管理者・各事業所OB同行による学校訪問を年度当初に行い、夏休みの期間を有効に活用する					
●人材確保							・実習生反省会時に法人事業説明、勧誘を徹底する					
・大学、専門学校への勧誘活動(訪問や案内の実践)							・若手職員を中心に、採用アイデア検討会を実施する					
・実習生への法人としての誘致活動							・各施設の強みを広報や催しを通じて地域に発信していく					
・職員紹介制度の本格的活動							・各拠点での地域の催しに積極的に参加し、地域拠点化する					
●品福ブランドの確立に向けた取組み							・施設公開・入所体験・介護教室・職員体験等の催しを実施する					
・HPや広報誌、学校や各種催しへの参加によるコマーシャル活動							・企画を年間を通じて実施する					
・地域が求める活動のリサーチ							・年間まとめ作成時に第二期中期経営計画の達成状況を確認					
●第二期中長期計画達成状況の評価および第三期中長期計画策定							・経営会議で評価の上、理事会成果を報告する					
・第二期中長期計画達成状況をまとめ評価する							・第三期中長期計画を策定を進め、全事業所で共有する					
・第三期中長期計画を策定する							・毎月の経営会議で状況の把握と対策を確認し、迅速な対応を行い、経費削減対策も同時に進めていく					
●収支改善							・地域のケアマネに向けて、施設情報を積極的に発信する					
・入所事業所の入所対策、促進の実施												
・経費削減につながる削減計画の策定												

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 地域福祉課

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年	●人材育成(地域福祉について職員の意識を高める) 新任研修等で紹介・説明 期日未定:他法人の例に学ぶ研修等											
間	●地域における公益的な取組みの展開 情報収集・関係者連絡調整・居場所づくり検討・企画 しなふく食堂の定期開催											
計	●地域社会への福祉啓発と福祉教育 啓発講座検討 こどものつどい企画検討 広報 → こどものつどい 夏の体験ボランティア 小学校福祉講座 随時:学校からのオーダーで福祉講座実施 中学校福祉講座 ヤングケアラーサポーター養成講座年数回開催											
画	●広報活動 随時HP「お知らせ」情報UP 改新広報誌163号発行 広報誌164号 各施設SNS等推進 広報誌165号 広報誌166号 ●地域とのつながり・地域交流 単発ワークショップ開催検討 各種まつり実行委員会開始 八潮まつり参加 しなふく紅葉フェスタ (記念のつどい参加) 毎月(手話舞踊サークル・地域生け花サークル開催) 随時地域からの声掛けに対応。 ふくしままつり参加 (北避難所祭り) 日黒クリスマス参加 八潮美化運動											
注												
本												
	事業の概要						執行上の課題				備考	
	●人材育成 ・地域福祉の重要性について、必要な情報を学び、法人内役職間で共有する ・一般職に向けても、地域福祉課の事業紹介等を行い、地域福祉を考える機会を作っていく						・地域公益的取組みの責務を法人の共通認識とするため、他法人の地域公益活動を学ぶ機会を設ける ・地域福祉課の職員人員不足を充足させる					
	●地域における公益的な取組みの展開 ・しなふく食堂の定着化にむけて、ニーズに柔軟に対応していく ・法人本部の社会資源を活用し、地域団体と連携し、居場所づくりの基礎を築く ・地域関係団体と情報交換等の機会を作るなど、関係性を深め、連携を図っていく						・地域の多様な課題に向き合い、継続・安定した事業の運営を行う必要がある。法人の強みを生かし、法人内多職種で関わり、課題に丁寧に向き合う					
	●地域社会への福祉啓発と福祉教育 ・地域社会の福祉への理解を促進するため、必要な事項についての福祉講座の開催と、福祉教育の機会を設けていく ・ヤングケアラーサポーター養成講座を年数回開催する						・ニーズを把握し、地域の福祉力向上のため、地域課題の一つであるヤングケアラーサポーター養成講座の開催方法に工夫し、希望者が参加しやすい講座をつくる					
	●積極的な広報活動 ・品福ブランド確立へつながるよう、上記の取組みの他、地域とのつながりだけでなく、施設の強みや活発な活動を紹介し、広報活動を行う						・意義のある取り組みについて、タイムリーに発信していく					
	●地域とのつながり・地域交流 ・地域とのつながりや交流の機会を通し、地域住民と相互理解と信頼関係を築いていく						・地域とつながるために、日常的な交流イベントを企画検討する ・利用者と地域のために、つながりが次の機会に繋がるよう、工夫する					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 かえで荘

目標稼働率 ホ-ム96% SS95%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	目標シート確認 新卒職員研修	口腔ケア研修	個別研修研修計画作成 排泄関係研修	ポジショニング研修	感染症研修1	中間面接	感染症研修2		年度末面接 感染症研修3	次年度(現任)研修計画作成		
	●ICT技術導入											
	見守り機器マニュアル作成		新しい介護機器導入検討	マニュアル評価		マニュアル見直し 介護機器補助金申請			マニュアル再評価		新しい介護機器導入	
	●ケアの充実											
	暮らし方シート更新		「好きなことリスト」運用の評価			暮らし方シート更新					シート活用の年度評価	
	ボランティア担当者会議実施		新サークル立ち上げ1			ショッピングボラ導入			新サークル立ち上げ2			
	●組織体制の強化											
	組織体制周知					組織体制中間評価					組織体制課題検討	
	看護師採用活動		専門職会議体の検討									
	●収支改善											
後援者	入所調整会議			入所調整会議			入所調整会議			入所調整会議		
	生産性向上加算Ⅱの取得						記録ICT化検討⇒加算Ⅰ取得				加算検討	
事業の概要						執行上の課題					備考	
●人材育成 ・入社1～2年、非常勤、派遣介護士等を対象に基本的介護技術についての指導を強化する ・誤嚥性肺炎予防をテーマにシーティング、嚥下状態の把握、食形態の検討、口腔ケア等の一連介護技術についてチェックし、職員のスキルを向上させる。						・個別研修計画 ・対象職員のスキルチェック ・委員会主催の研修会実施及び委員会間の連携強化						
●ICT技術導入 : 見守り機器(見守りカメラ・インカム付きナースコールシステム) ・見守り機器導入につき、マニュアル作成、操作方法の周知をする。 ・上記機器により業務効率化、職員連携の強化が図れるよう検討し、マニュアルに落とし込んでいく ・新しい介護機器導入の検討(令和7年度補助金申請)						・操作方法とともにプライバシー保護の観点でのルール作り ・機器導入に合わせ、今までの業務の見直し、効率化のためのマニュアル作りと周知徹底が必要 ・補助金申請の時期について情報収集する					・生産性向上加算との連動	
●ケアの充実 ・個別支援の充実: ○○さん暮らし方シートの活用を進め、利用者個々に合わせた支援を考えていく ・外出支援の充実: ショッピングや散歩など地域の方とふれあい、外気に触れる機会を増やす ・余暇支援の充実: サークル活動の復活(音楽サークル、書道サークル等)						・暮らし方シートの定着、「○○さんの好きなことリスト」の活用 ・外出支援、余暇支援への地域ボランティアの活用					・利用者個々の生活、歴史に着眼 ・地域住民としての存在を意識する	
●組織体制の強化 ・フロア内指揮命令系統 ・多職種連携						・リーダー、チーフの役割明確化 ・委員会責任者の権限強化 ・専門職間の連携⇒常勤看護師の配置が必須						
●収支改善 ・稼働率の確保: スピーディな入所調整、空床利用 地域に向けてのアピール: 地域貢献活動 ・支出調整: 派遣職員の非常勤化をさらに進める ・生産性向上加算Ⅰの取得に向けて準備						・かえでサロン・しなふく食堂の実施(両者の差別化) ・入院者を減らす取り組み(誤嚥性肺炎防止・感染症対策) ・派遣介護士の非常勤化 ・生産性向上加算の要件を満たす取り組み(記録のICT化など)					・都経営支援ポイントに連動 ・タブレットによる記録の検討	

令和7年度年間計画 進行管理表

事業所名 品川区立中延特別養護老人ホーム

様式1

目標稼働率 ホーム96% SS95%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 (1年目・虐待防止・現任研修:毎月 2年目研修:年8回 3年目研修:年7回 交換研修:毎週)											
		チーフ研修		チーフ研修		チーフ研修 中間評価		チーフ研修		チーフ研修		チーフ研修 総合評価
	●価値観の共有											
	役職会議(毎月開催)											
	虐待防止委員会・虐待防止研修(毎月開催)											
	●サービスの向上											
計画	チーム編成	チーム検討	介護機器研修 チーム検討		チーム検討	介護機器研修 中間評価		チーム検討	介護機器研修 チーム検討		チーム検討	介護機器研修 総合評価
	●大規模改修											
	設計会社との打合せ											
		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会		委員会
	●収支改善											
	入所調整検討会議 役職会議(毎月開催)											
稼働率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・経験年数に合わせた研修および個別研修計画にそった研修の実施 ・リーダー候補者およびフロアの核となるチーフを育成する ・法人内および他法人と交換研修を行う							・研修を行う時間の確保については、毎月リーダー職で検討 ・4月よりチーフ研修を新設					
●価値観の共有 ・役職会議で共有した「何のために、誰のために、何を大事にしてケアを行うのか」等、 入所者の権利擁護やケアに関する価値観を共有する ・虐待防止委員会で虐待防止および不適切なケアについて意見交換し虐待ゼロとする							・共有事項を周知徹底させる方法についても役職会議で検討 ・虐待防止委員会と虐待研修は毎月行う					
●サービスの向上 ・移乗用介護機器の活用による「抱え上げない介護」の推進 ・「誤嚥性肺炎ゼロ」「骨折ゼロ」「尿路感染ゼロ」の達成月を年間で6ヵ月以上とする ・入所者一人ひとりの「願いや望みを叶える」および「選択する」力を活かしたケアを実践							・移乗用介護機器での事故がないように研修を定期的に実施 ・編成した各チームで1年間取り組みを実践し目標達成する ・居室担当者が中心となり実践していく				・週1回個別サービスの 時間を確保する	
●大規模改修 ・改修工事に合わせICT化を図り、生産性及び職員の労働環境の向上を図るため 生産性向上委員会(仮称)にて準備を進める							・現場スタッフの調整が困難となるため、予め定例で日程を 指定する					
●収支改善 ・全職員の超過勤務合計の1ヵ月平均を80時間以内にする ・迅速な入所調整の実践と積極的な緊急ショートステイの受入れを行い目標稼働率を達成する ・稼働率および収支については毎月の役職会議で共有・検討し対策を実践する							・毎月の超過勤務時間を各フロアで確認し対策を検討する ・迅速な入所方法の検討を行い実践する					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 品川区立八潮南特別養護老人ホーム

目標稼働率 ホーム96% SS90%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成											
	研修準備 個別研修計画作成	育成研修 個別研修計画作成	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	育成研修	総括 年間評価
	●増改築へ向けての備え											
	研修の周知 ユニットリーダー研修		交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	交換研修	総括
	●増改築への対応											
画	定例会議への参加	家族への説明 定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	家族への説明 定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加	定例会議への参加
	●人権擁護											
	研修 委員会	研修 ハラスメント対策会議 委員会		研修 ハラスメント対策会議 委員会		研修 ハラスメント対策会議 委員会		研修 委員会		研修 委員会		研修 委員会
	●収支改善											
	入所調整打合	口腔ケア担当会議 委員会		口腔ケア担当会議 委員会		入所調整打合	委員会		口腔ケア担当会議 委員会		口腔ケア担当会議 委員会	入所調整打合
稼働率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・実習生の受入れを積極的に行い、外部に知ってもらう機会とし、新規採用への足がかりを作る ・前年度に引き続きキャリアごとの研修を実施し人材育成をすすめていき、個別研修計画の立案も併せて行う							・介護福祉士以外の実習生の受入れを予定 受け入れに際して受け入れ側も研修の受講が前提となる ・研修は前年度の実績に基づき新たなメンバーや内容を検討					
●増改築へ向けての備え ・利用者・家族への理解・協力・情報提供のために事業説明会を定期開催し、丁寧に説明する ・ユニットリーダーの養成を進め、ユニットリーダー研修の受講を計画的に実施 ・複数ユニットの担当に向けて、フロア間の交換研修を本格稼働させる							・工事に関する説明は、品川区からも情報を頂きながら進める ・ユニットリーダー研修に関する費用が高額なため費用面を要調整 ・交換研修については、主旨と内容を検討する					
●増改築への対応 ・指定管理者品川区と協力・連携しながら、工事が円滑に進行されるように調整を図る ・定例会議に出席し想定される利用者への影響を確認し利用者の日常生活への支障を緩和する ・ICT機器の活用により業務改善や職員の資質向上につなげていく							・工事における課題が見つかった場合、施設だけで解決できる問題か関係機関と迅速に協議し、改善を図る					
●人権擁護 ・研修や委員会を通じて、利用者や同僚に対する「人への尊厳」について意識を高める ・職員が安心して業務に従事できるようハラスメント対策の構築と研修により対応強化を図る							・ハラスメント対策については事業所単位だけではなく、法人と併せて検討していく必要がある					
●収支改善 ・目標稼働率を確保するために空床期間を減らす(6%未満に抑える) ・入院者を減らせるように、肺炎予防(口腔機能強化の取組みと)、健康管理にはICT機器を活用し予防し昨年度より入院者10%減とする→各委員会による業務改善への取組みも並行して実施							・入院者の削減にはそれぞれの多職種連携が欠かせないので相互理解と協力体制を強化していく ・口腔ケア等意義や手技について周知するなど準備が必要 ・委員会による業務改善への取組み強化					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 品川区立グループホーム八潮南

目標稼働率 98.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成(資質向上)											
	研修計画作成	研修計画作成	研修		研修		中間評価	研修		研修		年間評価
	●日常生活を支援する											
		委員会		委員会	満足度の調査 委員会		委員会	委員会		委員会	満足度の調査 委員会	
	●地域との連携											
	ボランティアとの交流			ボランティアとの交流		祭り参加	行事参加	ボランティアとの交流			ボランティアとの交流	
年間計画	●増改築への準備											
	定例会議	事業説明会	研修 定例会議	定例会議	定例会議	定例会議	事業説明会	定例会議	研修 定例会議	定例会議	定例会議	定例会議
	●収支改善											
	業務の見直し	改善計画	改善の取組み 加算算定準備	改善の取組み 加算算定準備	改善の取組み	評価 加算算定開始	業務の見直し	改善計画	改善の取組み	改善の取組み	改善の取組み	評価
後 進 率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・職員のスキルアップのため専門性を高める ⇒認知症アドミニストレーターの養成を積極的におこなう ・個別研修計画を立案し、個別のスキルアップの育成体制を構築する							・研修の成果を出すには、学んだことを実践する時間を確保しなければならない(業務改善により時間を確保したい) ・キャリアパスを意識した計画の作成が求められる					
●日常生活を支援する(人権擁護の観点をもつ) ・季節ごとの行事と同様に日々の日常的に行われる食事作りや買い物なども丁寧におこない利用者の満足度を上げる ・人への尊厳を意識して、関係性の構築をする→適切な言葉遣いをこころがける							・満足度調査のタイミング次第では、記憶があいまいになっている可能性があり実施時期を考慮する必要がある ・独自の言い換え表を活用中。互いに注意し合うことに躊躇有					
●地域との連携 ・開かれた施設を目指し、できるだけ外部の方との交流の機会を増やし地域にPRしていく ・地域のお祭りなどを通じて顔の見える関係づくりをおこない、災害時などの連携につなげていく							・ホームページやSNSの活用をする際に、個人情報保護に配慮する ・流行期には感染症の対策をとり、できるだけ交流をすすめる					
●増改築への準備 ・指定管理者として品川区と協働し、増改築工事が円滑に進むように調整を図る ・ユニットの増床に伴いユニットリーダーの養成を勧奨するとともに、体制整備を進めていく							・これまで経験したことのない業務形態への移行に不安を抱く職員が多い為、シミュレーションなどしながら具体的なイメージを持てるようにしていく					
●収支改善 ・ICT機器を活用しながら、職員の負担軽減と業務改善を図り、生産性向上に努める ・ムリ・ムダ・ムラの観点から業務の見直しを図り超過勤務を削減し働き方改革を推進する ・業務改善で生み出された時間を使い、加算算定に向けて準備をすすめ、収入UPを図る							・長年の習慣を変えたり、ICT機器に慣れていない職員に対して、丁寧に説明したり、操作を覚えてもらうなど一時的に時間を要す					

令和7年度 年間計画 進行管理表

事業所名 品川区立中延在宅サービスセンター

目標稼働率(一般/認知) 77.0% 60.0%

様式1

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 目標設定・個別計画作成 交換研修スタート											
	●地域とともに 関係機関への相談、ボランティア募集(毎月コミュニティカフェ実施)											
	●家族支援 介護者教室											
	●大規模改修 設計会社との打合せ											
	●収支改善 他社居宅支援事業者へ営業											
	●地域とともに 関係機関への相談、ボランティア募集(毎月コミュニティカフェ実施)											
稼働率												
事業の概要						執行上の課題				備考		
●人材育成 ・職員個々の目標の達成、法人の職員像に合わせた育成を図るため、職員毎の研修計画を作成し人材育成を進める ・サービス向上のために必要な研修を事業所で実施する						・特に外部機関の研修等、参加者が限られてしまうものは、事業所全体で共有を図れるよう工夫する				外部研修(集合型)を効果的に取り入れる。		
●地域とともに ・福祉の専門集団として、地域ニーズに合わせた貢献活動を行う ⇒子どもの居場所作り及びその担い手として高齢者の活躍の場を作る。今年度は夏休み期間の食事の提供と宿題の支援						・対象となる子どもへの周知方法、連携先の選定、ボランティアの確保、既存事業との場所の調整				かみつぐ助成金を活用した事業		
●家族支援 ・在宅生活を継続させるために介護者への支援を実施し、介護負担の軽減を図る						・仕事と介護の両立、老々介護による身体的負担等により生活に余裕がない介護者が増加している ・イベントに参加する負担とを感じる介護者にメリットを感じてもらえる企画が必要				グリーン企画は高齢の介護者を対象として実施。次年度以降の一般介護予防事業をねらいたい		
●大規模改修 ・改修工事に合わせICT化を図り、生産性及び職員の労働環境の向上を図るため生産性向上委員会(仮称)にて準備を進める						・現場スタッフの調整が困難となるため、予め定例で日程を指定する						
●収支改善 ・目標稼働率の確保及び適正人員配置を行うことで安定した経営を行う						・事業所のサービス提供について広報を積極的に行う				近隣の民間事業者との競合		

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 品川区立八潮在宅サービスセンター

目標稼働率 77.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 年間計画に基づき外部研修を受講 受講後に内部研修にて共有											
	●新たな加算取得 BI情報を職員がアセスメントし、LIFEにAD情報提供を6ヵ月毎に実施 加算取得開始可能											
	●新しいプログラムの充実 指導者の育成 プログラムの充実 器具の購入 指導者の育成 効果測定し、サービス内容を再検討											
	●イベント・レクリエーションの充実（積極的にボランティアの開拓を行う） お花見 事業説明会 葛蒲湯 60号棟防災訓練 セタ 変わり湯 総合防災訓練 紅葉ドライブ 柚子湯 Xmas 初詣 節分 総合防災訓練											
	●収支改善 リーフレットの作成（新プログラムの掲載） 居宅支援事業所への宣伝、SNSへの情報アップ随時											
は り 山 本												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・リーダー、生活相談員、介護士など職種のテーマに合わせた、年間の個別研修計画を立てる ・新しいリハビリプログラムを全職員が利用者への指導者として立てるように、訓練をする ・パーセルインデックス(BI)を適切に評価できる者になるため、全職員を教育する							・外部研修等で学んだ研修を、受講者が内部研修にて共有する ・パーセルインデックス(BI)の測定方法に関する研修を受講し、初めてBIによる評価を行う職員には、理学療法士などの同席の下で実施する					
●新たな加算の取得 ・ADL維持等加算を取得する。							・人材育成にあるように、しっかりと科学的根拠をもった質の高いアセスメントが実施出来るようにする。					
●新しいプログラムの充実 ・プログラムに必要な器具の購入 ・前年度開発したプログラム内容を充実させる ・全職員が指導できるように訓練する							・器具の購入を予算化し、取得する ・機能訓練指導員が不在日であっても、質の高いサービス提供をしていくための訓練をする					
●イベント・レクリエーションの充実 ・思い出になるイベントの企画を行い、利用者の満足度を高める ・ボランティアを計画的且つ積極的に受け入れ、イベントを充実させる							・残業の増加など、職員の負担にならないようなシステムづくりをする ・定期的なボランティアを獲得する					
●収支改善 ・介護予防に強い事業所として、転倒予防体操＜てんとう無し(むし)体操＞をアピールし、稼働の向上を図る ・既存のイメージからの脱却を目的に、事業所宣伝用のリーフレットを刷新する							・担当者会議や実績報告時に居宅支援事業所に新プログラムを宣伝する ・SNSに情報を上げ、リーフレットにもQRコードを掲載する ・費用がかかるがリーフレットを外注					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 大井在宅サービスセンター

目標稼働率 一般80%、認知症対応型40%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年 間 計 画	●人材育成⇒＜専門性の向上＞非常勤職員のスキルアップ研修の開催、常勤職員の生活相談員業務育成 非常勤職研修 「個別研修計画を策定し、職員一人ひとりの能力を育成する。」 非常勤職研修 非常勤職研修 非常勤職研修 非常勤職研修 非常勤職研修											
	●プログラムの充実 PT・介護職員の研修 (現行のリハビリプログラム内に認知症予防プログラムを導入)											
	●加算の取得＜口腔ケア関係加算・ADL維持加算＞ ADL維持加算の申請(Barthel Index測定の測定が必須で、機能訓練指導員もしくはBarthel Index測定研修を受けた職員が記録) 口腔機能向上加算・ADL維持加算の取得準備											
	●イベント予定 事業説明会 特別食2回 菖蒲湯 特別食2回 特別食2回 七夕 特別食2回 夏のデザート週間 特別食2回 敬老祝い会 特別食2回 特別食2回 紅葉ドライブ 特別食2回 ゆず湯 特別食2回 初詣ドライブ 特別食2回 節分 特別食2回 お花見 特別食2回											
	●収支改善⇒目標稼働率の確保、新規加算の積極的取得 居宅介護支援事業者への訪問(毎月)											
提出												
事業の概要						執行上の課題および改善策					備考	
●人材育成 ・非常勤職員を多く配置しているため、ケアの質を保つ事を意識し必要な研修を実施する 「個別研修計画を策定し、職員一人ひとりの能力を育成する。」						・非常勤職員研修は、短時間勤務の職員もいるため、動画等も活用し全員が情報をえられるようにする。						
●プログラムの充実 ・現在好評いただきサービス利用開始の目的にもなっているリハビリプログラム内に、筋力アップに加え認知症予防のプログラムを取り入れ充実させていく。						・理学療法士と補助役でもある職員全員が同一の方向性を持つため、事業所内における研修を4月・5月に実施する。						
●新たな加算の取得 ・サービスの質の向上を常に考え、取得可能で効果的な加算を取得していく						・「科学的介護情報システム(LIFE)」については3ヶ月毎の実施となったが、入院や退院などの生活環境変化や身体機能変化があった場合は、その都度評価を行う						
●イベント ・日本人になじみのある季節毎のイベントを実施する ・食事に関しても月に2度ほど通常提供している食事よりもランクが上の「より美味しい食事」を提供することによって、利用満足度の向上を図る。						・イベント実施後に参加者にアンケートを実施し、イベント企画に反映させる ・イベントの様子を積極的にフェイスブック・Instagramや地域のケアマネに発信し、新規顧客の獲得に繋げる						
●収支改善 ・居宅介護支援事業所との利用者報告・事業内容報告を毎月実施する 新たな加算取得によるサービスの質の向上を図る						・1%の支出削減を目指すため、サービス低下させず超過勤務や派遣職員費用の削減を図る						

令和7年度 年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 在宅介護支援センター(八潮、大井、大井第二、中延)

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成											
	各事業所単位で毎月現任研修を実施											
	●コンプライアンス維持のためのケアプランチェック											
	各在宅介護支援センター管理者が他部署の書類チェックを実施											
	各職員による業務報告書を毎月提出											
	●4在支間の連携											
年間計画	定例会											
	合同研修											
	●地域とともに											
	民協・ふれあいサポート等を活用し協力体制を構築する											
	●収支改善											
年間計画	居宅件数と配置職員の確認											
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成							●業務上必要とされる研修が多いため、計画的に受講するとともに柔軟な勤務調整を行う					
●コンプライアンス維持のためのケアプランチェック							●点検を強化するため、管理者に加えて、主任ケアマネジャーなど経験ある職員もケアプランチェックに参加する					
●4在支間の連携							●4在支の定例会を実施することで、制度や委託業務の解釈に齟齬が無いよう確認する ●研修等を集合で実施することで、コミュニケーションを図り一体感を持つことができる。					
●地域とともに							●支え愛ほっとステーション等外部機関との連携を強化する					
●収支改善							●計画的な人員採用が必須となる。外部研修、職員紹介を活用し採用を強化する					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 かもめ園知的

目標稼働率 95% 85% 100%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成											
	構造化の取り組みや学習会の実施											
	カンファレンスの実施準備											
	カンファレンス実施											
	●人材確保											
	面談の実施											
	※必要に応じて、フィードバックの実施。											
	●収支改善											
	健康診断											
	収支確認											
収支確認												
健診												
収支確認												
収支確認												
●利用者の方に自立支援、自己選択のアプローチを行う。												
日中活動												
活動振り返り												
個別外出の準備												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
外出の実施												
●利用者職員が地域の一員としての取り組みをする												
貢献活動												
評価												
地域連携推進会議の開催												
貢献活動												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												
活動振り返り												

令和7年度 年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 かもめ園 身体

目標稼働率 95% 85% 100%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成											
	外部研修		研修報告会			研修報告会			研修報告会			研修報告会
	●人権擁護・法令遵守											
	虐待防止委員会・身体拘束廃止委員会											
	他職種によるカンファレンス											
	サビ管による勉強会				サビ管による勉強会			サビ管による勉強会			サビ管による勉強会	
年間計画	●利用者の健康管理											
	健康診断						健康診断	インフルエンザワクチン		コロナワクチン		
	●支援の統一											
	ICT機器活用検討				ICT機器活用検討	マニュアル委員会		ICT機器活用検討		ICT機器活用検討	マニュアル委員会	
	●収支改善											
			収支確認			収支確認			収支確認			収支確認
年度												
事業の概要							執行上の課題					備考
●人材育成							・研修情報を職員が確認できるよう、情報発信を行うと共に、受講を働きかけていく					
・個別研修計画を作成の上、内部研修及び外部研修の受講を積極的にすすめ、3か月に1度研修報告会を開催する							・資格取得に必要な条件がそろっているか確認し、該当する職員には取得を促していく					
・施設運営に必要な資格取得をすすめていく												
●人権擁護・法令遵守							・虐待の芽チェックリストを全員が提出するよう定期的に発信する					
・委員会にて情報共有を行い、職員全員で虐待ゼロを目指す							・個別支援計画作成の目的や意味を学ぶ機会を設ける(サビ管による勉強会の開催)					
・サビ管が中心になり、個別支援計画のより適切な作成をすすめるため、カンファレンス等のあり方を検討し、毎月1回以上カンファレンスを開催できるよう、多職種で取り組む												
●利用者の健康管理							・感染症マニュアルの見直しを行い、日々の支援に活かせるよう一般職と情報共有を行う					
・年間を通して、感染症対策を徹底し、感染があっても広がることのないようにする							・こまめに家族と連絡を取り合い、ご利用者の普段の様子について共有できるようにする					
・多職種連携のもと、利用者の日々の健康管理を行い、家族とも情報共有を行う												
・令和6年度に実施できなかった腫瘍スクリーニングを実施する												
●支援の統一							・マニュアル見直しの委員会を立ち上げる(年2回まとめて共有する)					
・提供するサービスが日によって大きく変わることがないよう、わかりやすいマニュアル作成を行うと共に、利用者の現状に応じた提供ができるようにする							・ICT機器をさらに活用できるよう、勉強会を開催し、活用方法を検討する					
・利用者の日中活動について、外出支援も含め、幅を広げられるようにしていく							・日中活動の活動見直しと個別外出をすすめていく					
・ICT機器や入浴機器を活用しながら、安全な支援を継続する							・入浴機器の導入後、管理の徹底を行う					
●収支改善							・新規入所者について情報収集を早めに行い、早めにトライアルにすすめるようにする					
・空床期間を短くできるよう、選定会議後は速やかに新規入所者へのアプローチを行う							・短期入所の緊急利用を積極的に受け入れていく					
・短期入所利用を可能な限り受け入れ、空床利用もすすめていく												

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 サンかもめ

目標稼働率 83.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成⇒各職員のスキルアップ											
	チーム内検討		現任研修		現任研修			チーム内検討		チーム内検討		チーム内検討
	●人権擁護 指針の周知 委員会		委員会	研修	委員会		委員会	研修	委員会		委員会	
	●日中活動の充実…利用者ニーズに対応したプログラムの変革											
	全体 検討		チーム内検討				チーム内検討	チーム内検討		作品展 参加	チーム内検討	
	●サービスの質の向上											
画	全体 検討			チーム内検討					チーム内検討			
	●収支改善…目標稼働率の確保											
稼働率	チーム内検討		チーム内検討		チーム内検討		チーム内検討		チーム内検討		チーム内検討	
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・職員個々が個人目標を設定し、外部の研修に参加し支援力を高める ・利用者の重度化や高齢化に対応する支援体制を強化する							・全職員が参加できるように、4月中に年間の研修スケジュールを作成、周知する ・毎月の職員会議で、研修内容・資料を回覧し、全職員に周知する					
●人権擁護 ・虐待防止及び身体拘束廃止への体制整備を行う ・職員の支援技術、知識の向上を推進する							・毎月の委員会で、日常支援の振り返りの実施 ・5月以降、外部関係機関の虐待防止研修受講計画を作成する					
●日中活動の充実 ・利用者ニーズに対応した日中活動プログラムの変革を検討する ・建物の老朽化への対応。各作業室の環境整備 ・様々な場に、利用者の作品をアピール							・4月 現状の活動に関して検討。5月検討事項の実施 ・作業室のレイアウト変更など実施 ・東京都等の作品展開催の把握し、作品を応募していく ・各種作品展等に参加し、施設を外部にアピールしていく					
●施設支援力の向上 ・重度障害者、強度行動障害者への支援力向上のため、研修に参加し、職員の知識や技術を高める ・医療的なケアが必要な方の受入れ							・重度障害者、強度行動障害者や医療的なケアが必要な方の受入れに必要な環境整備を実施 ・アセスメントを重視し個々の障害特性、高齢化などに対応する支援を実施					
●収支改善 ・目標稼働率の確保のために、利用者増を図る ・支出の見直しを行う							・5月 近隣区の相談支援事業所・特別支援学校へ訪問。 施設をアピールし、連携することで、利用者増を進める ・毎月の会議で収支の情報共有を図り、職員の意識づけを行う					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 会館 生活介護

目標稼働率 80.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年	●人材育成 ①喀痰吸引・経管栄養実施の研修 ②強度行動障害研修(基礎) ●余暇活動の充実 ●地域とのつながり 事業説明会 ●収支改善 生活介護会議での検討やSNSの活用 (当初計画)											
間					喀痰吸引・経管栄養実施の研修(基礎修了)					喀痰吸引・経管栄養実施の研修(実践修了)		
計					強度行動障害研修(基礎修了)			強度行動障害研修(実践修了)		強度行動障害研修(実践修了)		
画		園芸ボランティア 生産活動	園芸ボランティア 生産活動	音楽ボランティア 生産活動	園芸ボランティア 生産活動	生産活動		音楽ボランティア 生産活動	園芸ボランティア 生産活動	生産活動	音楽ボランティア 生産活動	園芸ボランティア 生産活動
	会館まつり実行委員会	会館まつり実行委員会	会館まつり実行委員会	会館まつり	個別外出	個別外出	ハロウィン	個別外出 事業説明会	クリスマス忘年会 障害者作品展	個別外出	個別外出	個別外出
					(点検・課題抽出と対策)			(点検・課題抽出と対策)			(点検・課題抽出と対策)	
注												
出												
発												
行												
事												
業												
の												
概												
要												
	事業の概要						執行上の課題				備考	
	●人材育成 ・医療的ケア対象者の受け入れ 職員のスキルアップを進めるため、喀痰吸引・胃ろうの支援の研修参加 ・職員のスキルアップを進めるため、強度行動障害者の研修参加 重度障害者支援の強化と充実を図る						・医療的ケアが必要な利用者の支援の充実を図るため 職員1名が研修に参加し、喀痰吸引・胃ろうの支援を するための資格を取得 ・職員2名が研修に参加し、強度行動障害者の支援を するための資格を取得					
	●余暇活動、地域交流の充実 ・ボランティアの活用 ・生産活動を通じたプログラム提供						・園芸と音楽ボランティアの各関係者と連携を取り、 計画した活動の提供を実施 ・販売の在庫数を把握しながら、体験の機会としても メモ帳とバスボムを活動で作成					
	●地域とのつながり ・会館まつり ・個別外出等の行事 ・事業説明会 ・障害者作品展						・7月の会館まつりは、4月～6月に月1回の実行委員会で 各関係者との連携し実施 ・4月と11月に事業説明会を実施 ・予定の日時で行事等のサービス提供を実施 ・11月に障害者作品展に参加					
	●収支改善 ・毎月の会議で、状況の確認と対応策の検討。またSNSの活用 ・人員配置体制加算等や重症心身障害児者通所事業の補助金収入を得る ・車両を購入し送迎車を1台増やし、送迎サービスを拡大し登録者数を増やす						・職員全員で現状の把握と課題抽出を行い、役割分担を 決めて対策に取り組む。またSNSで施設の魅力を発信し、 新規利用の増加につなげる ・算定できる加算や補助金収入を確保する ・新規、利用希望の方への送迎サービスをスピード感を 持って調整し、利用につなげる					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 会館 自立訓練

目標稼働率 55.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成											
	高次脳機能障害支援者養成研修等の研修への参加											
	高次脳交流会											
	高次脳合同講演会											
	高次脳症例検討会											
年間計画	●効果的な支援・訓練プログラムの提供											
	自立度評価指標等の活用											
	●イベント											
	会館まつり実行委員会 会館まつり実行委員会 会館まつり実行委員会 会館まつり											
	事業説明会 事業説明会											
年間計画	●収支改善											
	関係機関との連携強化・SNSの活用											
	訓練センター会議 (当初計画)											
	(点検・課題抽出と対策)											
	(点検・課題抽出と対策)											
事業の概要							執行上の課題					備考
●人材育成 ・職員のスキルアップを進めるため、高次脳機能障害支援者養成研修等の研修への参加							「障害特性の理解向上の取り組み(勤務調整し参加する)」 ①7月 高次脳交流会に参加 ②10月 高次脳合同講演会 ③8月までに高次脳機能障害支援者養成研修に参加 ④1月 高次脳症例検討会の開催					
●効果的な支援・訓練プログラムの提供 ・自立度評価指標等の活用によるサービスの質の向上							・全職員が評価表を有効に活用するための 勉強し、継続して利用者支援に活用					
●イベント ・会館まつり ・関係機関の方向けの事業説明会を開催する							・会館まつりは、4月～6月に月1回の実行委員会で 各関係者との調整・連携を実施し会館まつりを実施 ・6月と10月に事業説明会を開催					
●収支改善 ・関係機関との連携強化・SNSの活用 ・毎月の会議で、状況の確認と対応策の検討							・毎月、事業所の利用状況を関係機関に発信またSNSで 施設の魅力を発信し、新規利用の増加につなげる ・職員全員で現状の把握と課題抽出を行い、役割分担を 決めて対策に取り組む					

令和7年度 年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 品川区旗の台障害児者相談支援センター

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成「東京都相談支援従事者初任者研修」受講促進 研修案内を総務課と共有 申込開始 ※各自、研修に参加する											
	●業務改善 支援センター内でルールを決める ⇒ 他事業所と相談											
	●相談支援技術の向上 合同会議 ※ペアで認定調査を実施し、互いに確認する場を設ける											
	●関係機関との連携 拠点連絡会 地域事業所連絡会 ※年間通して、区主催の自立支援協議会、部会、連絡会などに出席する											
	●収支改善 申請が必要な加算の申請を行う											
ほ加算												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・法人内の4か所の障害相談支援事業所を継続していくために、計画的に令和7年度「東京都相談支援従事者初任者研修」の受講を促す ・障害児者の支援、人材育成技術など、相談支援に関わる専門性を高める研修に、各自年2～3回受講する							・法人として研修受講を勧めていけるようにする ・年度当初に研修の受講を促し、年2～3回外部研修に参加できるようにする					
●業務改善 ・法人内事業所との文章（サービス等利用計画など）のやり取り方法を整理することで、業務の効率化を図る							・年度当初に事業所内でルールを統一し、関係機関に依頼する					
●相談支援技術の向上 ・定期的に法人内の相談支援事業所合同の会議を開催する ・定期的に認定調査をペアで行う体制を作ることで、アセスメント力の向上に繋げる							・年間計画で年4回、合同の会議の日程を決めて実施する ・支援センター会議で認定調査のペアを決めて実施する					
●関係機関との連携強化 ・自立支援協議会、各部会、連絡会、スキルアップ研修などに出席し、他事業所との連携強化に努める ・地域の相談支援事業所と顔の見える関係を構築するため、地域の相談支援事業所との関係を強化する（関係構築の場を設ける）							・支援センター内で担当者が出席した後に、全体に周知することを徹底する ・近隣地区の相談支援事業所との連絡会を開催する（6月頃）					
●収支改善 ・取得できる加算（主任加算、モニタリング加算など）を確実に取得する							・4月に加算の申請を行う（主任加算）					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 障害者計画相談支援事業所(中延・大井第二・八潮)

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成「東京都相談支援従事者初任者研修」受講促進 ※各自、研修に参加する 研修案内を総務課と共有 申込開始											
	●業務改善 ・業務見直し ・フォロー体制を確認し、実施する											
	●相談支援技術の向上 合同会議 ※ペアで認定調査を実施し、互いに確認する場を設ける 合同会議 合同会議 合同会議											
	●関係機関との連携 ※年間通して、地区ケア会議、部会、連絡会、高齢障害事業所連絡会などに出席する											
	●収支改善 毎月、取得できる加算を確実に取得する											
稼働率												
事業の概要						執行上の課題				備考		
●人材育成 ・法人内の4か所の障害相談支援事業所を継続していくために、計画的に令和7年度「東京都相談支援従事者初任者研修」の受講を促す ・障害児者の支援、相談支援に関わる専門性を高める研修に、各自年2～3回受講する						・法人として研修受講を勧めていけるようにする ・年度当初に研修の受講を促し、年2～3回外部研修に参加できるようにする						
●業務改善 ・一人事業所の中で職員が安心して働ける体制を整える(長期休みのフォロー体制など) ・書類の管理(確認)方法など、業務を見直し簡素化できることは変更していく						・4月からボイスワープ機能を使い、休みの日はフォローし合う体制を確認する(不在時はフォローし合う意識を作っていく) ・3事業所の業務予定表を新たなツールを使用できるように準備する						
●相談支援技術の向上 ・定期的に法人内の相談支援事業所合同の会議を開催し、ケースを通して学ぶ場を設ける						・年間計画で年4回、合同の会議の日程を決めて実施する						
●関係機関との連携強化 ・地区ケア会議、部会、連絡会、スキルアップ研修などに出席し、他事業所との連携強化に努める ・高齢障害事業所連絡会で課題を共有することで、改善が必要なことを所管課に提案していく						・一人事業所の為、可能な限り会議や連絡会に出席できるように業務を調整する						
●収支改善 ・算定できる加算を確実に取得する ・月1回の会議で各事業所の状況を確認し合う						・毎月の会議の中で、次月のケース数や各事業所のケースの状況を共有する						

令和7年度 年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 品川区障害者地域活動支援センター

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 派遣業務に関する研修の実施											
	●各種教室の見直し 各教室の状況を把握す											
	●新規登録利用者を増やす SNSの発信、体験教室の開催											
	●収支改善 事業内容確認 予算要望											
稼働率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・派遣コーディネーターとしての基本を学ぶ機会を設ける(講師派遣・派遣現場の見学) ・全職員が事業所全体の業務を身に付けていけるようにする(派遣、講習会、教室)							・4月に職員向けに研修を実施してもらえ事業所を探し、依頼する ・業務を分担した上で、全員で業務を行うことで全ての業務を身に付けていけるようにする					
●各種教室の見直し ・職員が各教室に参加し、講師やボランティアから教室の状況を確認する							・4月から3名の職員体制の中で、順番に教室に入る体制を整える					
●新規登録利用者を増やす ・教室の様子をSNSなどで発信したり、体験会の開催など外部への発信を行う							・下半期に、現在行っている各教室で体験会の日を設ける ・数ヶ月に1回、各教室の様子をInstagramで発信する					
●収支改善 ・次年度の事業を見込んだ予算要望を行う							・事業変更や新規希望の事業を含めて予算要望できるように準備を進める					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 福祉工場しながわ

目標稼働率 72.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 年間計画立案		視察等実施			進捗確認	改善策実施				検証・効果測定	
	●プチレーブ新店舗において、営業を軌道に乗せる。(収支改善を進める) 新店舗開店 販売状況により製品計画を改善する。					移動販売を検討		移転先で営業				
	●従業員、利用者の知識及び能力の向上に向けた取り組みを進める。 従業員、利用者研修計画立案					進捗確認	改善策実施				検証・効果測定	
	●地元企業との連携を進める等、地域連携活動を強化していく。 地域福祉課と連携(しなふく食堂等)						紅葉祭り等でも実践					
	●収支改善を進める。 経営改善計画立案					進捗確認	改善策実施				検証・効果測定	
注記												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成(従業員の安心職場の基礎となる支援力を向上させる) ・福祉工場しながわの主要3事業を主体的に推進でき、事業の継続性を高められ、適切に障害者支援のできる人材を育成する							・育成計画の立案、育成時間、機会の設定 ・先進事業所等の外部視察などを実施、知識や技術の向上、情報収集、視野拡大を進める					
●パン工場、店舗新規開店後、顧客ニーズ、地域特性に沿いパン等の品目を検討、店舗営業を軌道に乗せる ・移転後、早期に事業の収支バランスの健全化を進め、継続性を高める ・従来からの納入先、外部販売先を堅持し、さらに拡大を進め、また本部内喫茶コーナーの活用を進める							・新店舗の販売状況により製造、販売方針の検討を柔軟に行う。(パンの種類、製造・販売方法を検討、試行、収益性を高める) ・カフェの営業、拠点販売を拡大し、従業員の増員等、事業展開に備える。(移動販売を検討する)					
●従業員、利用者の状況に合わせ、生活・余暇支援の在り方を検討する ・従業員、利用者の高齢化、障害程度の重度化、障害の多様化などに対して、作業以外の余暇活動、行事等は再企画し、同のニーズに合わせた内容に再編する							・慰労から気分転換、生活経験の拡大、余暇活動支援へ行事等の実施目的を変革する ・社会参加機会の設定を検討し、実施、効果を検証する					
●地元企業との連携を進める等、地域連携活動を強化していく ・事業展開の中で従業員、利用者と地域との接点を作り、地域での利用者の活躍の場を広げる ・事業所における地域と連携した事業や取り組み(地域連携活動)を企画し実施する							・利用者と地域の接点の拡大 ・地域福祉課と連携し、企業ボランティアとの協働体制の確立を進める(しなふく食堂等)					
●収支改善を進める ・生産活動の収支バランスを向上させ、従業員、利用者の賃金支払い機能を維持する ・各事業の収益性、継続性を高めるべく経営改善計画をたて、収支改善を進める							・第一業務(清掃) 清掃現場の拡大、清掃要員の確保 ・第二業務(製パン) パン工場新規開店に伴う収益性の向上 ・第三業務(製陶)顧客ニーズに対応した新規格製品の製造、増産体制の強化、品質改善、不良品の減少対策を進める					

令和7年度 年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 なぎさの家

目標稼働率 100.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 現任研修実施						現任研修実施					
	●利用者の高齢化対応 日中活動先との個別支援計画のすり合わせ						モニタリング					
	●地域との連携 地域連携推進会議実施準備	構成員選定					地域連携推進会議開催					
	●収支改善 当初計画				(点検・課題抽出と対策)		(点検・課題抽出と対策)				(点検・課題抽出と対策)	
稼働率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 共同生活援助事業を的確に理解し、適切な利用者支援を進められる人材を育成する							・人材の確保 ・年度当初から世話人候補者を募集、現任研修等で指導していく					
●利用者の高齢化対応を進める 医療機関や日中活動事業との連携を強化し、高齢化により必要となる情報の共有化、早期対応を進める							・サービス管理責任者、生活支援員の育成 ・重度化対応、基礎医療知識の研修参加を進める					
●地域との連携(新規・制度改定対応) 事業運営の透明性を高め、支援の質の確保に向け地域連携推進会議を開催する							・会議構成員の選定 ・年度前半に構成員を選定、後半に会議体を設立、実施					
●収支改善を進める							・稼働率管理					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 さつき

目標稼働率 98.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年	●人材育成 外部研修参加 ケース検討会議 ●人材確保と職場環境の整理 サボしながら 登録内容確認 ●人権擁護研修への参加 ～ 東京都福祉保健局・東社協・SELP協・都通研などの人権擁護研修や虐待防止関連の外部研修参加(通年) ～ ●安定的な利益の追求 東京都SELPセンター運営委員会への参加 新規作業導入 ●収支改善 試算表の分析(通年)											
間												
計												
画												
率												
事業の概要							執行上の課題および改善策					備考
●人材育成 ・外部研修への積極的な参加と事業所内でのケース検討会議を通して、利用者個々への理解度を深め、業務に対する遣り甲斐や働き甲斐を醸成する							・職員数が少ないと参加できない可能性があるため、職員数の確保が必須であり、安心して研修に参加していただける職場環境を整備する					
●人材確保と職場環境の整理 ・サボしながらへの登録と働きやすい職場環境の整理 ・時間内で仕事を終える事が出来る施設運営を行い、職員が安心して心身共に健康で働ける職場環境を作る							・適正な人材と人数を確保、育成するため、更にマニュアルを整備し、主、従事業所双方の職員が双方の業務を理解しやすい職場を形成していく					
●人権擁護研修への参加 ・人権擁護を最優先にし、職員の利用者支援技術や専門性、人間性の向上を図る ・東京都福祉保健局や東社協、SELP協などの人権擁護研修や虐待防止関連の外部研修へ積極的に参加する							・外部研修に年間を通じて参加することで意識の向上や醸成に繋がるため、研修に参加できない非常勤職員にも受講後情報共有をしていく					
●安定的な利益の追求 ・東京都優先調達カタログの更新、SNSでの情報発信、東京都共同受注窓口である東京都SELPセンターでの活動を通して新規作業を獲得していく							・情報確認や登録情報の更新が必要であり、常に情報収集を行い関係機関との連携を図ることで営業開拓等も進めていく					
●収支改善 ・稼働率の向上を目指し、工賃額向上に努め、健全な施設経営を行う							・利用者の健康状態を把握しきれない部分が多くあるため、相談支援機関などと連携して情報を共有していく ・毎月収支状況を確認し、適正な予算執行を進める					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 八潮中央保育園

目標稼働率 100.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3	
年間計画	●職員の質の向上、階層別の役割認識の向上												
	全体会議にて、施設の方針を周知		各種会議	各種会議開催	各種会議・個別面談	各種会議・個別面談	各種会議開催	各種会議開催	各種会議開催	全体会議にて振り返り、次年度の方針性の確認	R7年度に向けての計画立案		
			公開保育	研修参加									
	●働きやすい職場環境づくり												
	全体会議にて、施設の方針を周知									全体会議にて振り返り、次年度の方針性の確認			
			各種会議										
	●適切な感染症、災害への対策強化												
	全体会議にて、施設の方針を周知		水遊びに関する事故防止、衛生法研修			感染症防止研修			アレルギー、窒息事故等の事故防止、傷児の救急法				
	●イベント												
	対面式	親子交流会	ドーナツ祭り	七夕・プール開き・宿泊保育			運動会 芋掘り遠足		触れ合い動物園	発表会	発表会		お楽しみ会 お別れ遠足
全体保護者会	個人面談	個人面談	個人面談					クラス保護者会					
●収支改善													
全体会議にて、施設の方針を周知													
園児募集の呼びかけ、園見学やイベントへの招致(関係機関、近隣等) * 定員を満たすまで適宜実施													
後援等													
事業の概要							執行上の課題および改善策					備考	
●人材育成							●法人勤向について、こまめな情報周知を徹底する						
・法人職員としての意識の醸成を図る場を設ける							・モチベーション・士気の不安定さ、マンネリ化⇒様々な方法で年間通して、伝え途絶えさせないようにする(4月全体会議、7～8月個別面談 10～12月現任研修 1月全体会議、公開保育や研修を通して保育のフォードバックの強化)						
●職層に応じた役割分担、役割認識を図る。(各種会議の企画、参画)							●業務の効率化に加え、保育内容についての意見交換を相互に行い、フィードバックの時間を利用し、コミュニケーションを図る						
・本人の希望を加味した研修への参加、職場への還元につなげる							・様々な研修等で得た情報を隔月に会議等で検討する						
●働きやすい職場環境づくり							●サブスク導入は昨年度から準備を進めたものであり、実現化に至る						
・業務の手順や内容の整理による効率化							・費用対効果がどの程度生じるか、適宜検証をしていき、更なる新サービスやICT化について情報を収集していく						
●保育内容の工夫、環境の整備等を行い、ノンコンタクトタイムを確保							●BCP計画を作成し、職員への周知徹底を行う。様々な場面を想定した動きを実際に訓練として行っていく						
・意見を交換し合える場の設定、常時、情報の共有や相互の思いの受け入れ、傾聴が出来る雰囲気づくりを目指す							・時期によって流行する感染症の情報収集を行い、タイムリーに職員への研修、保護者への啓発を行う						
●園内で使用する物品(オムツ、エプロン、タオル等)のサブスクリプション化、電子連絡帳化導入。							●園児の募集については、HPへの掲載、施設内外にポスター掲示する						
●適切な感染症、災害への対策強化							●夏以降の募集状況により、区内及び八潮地域の子ども数、世帯の推移、他園の運営状況について情報を集め、0歳児の定員変更等、先を見据えた運営を検討する						
●情報収集と各関係機関との連携強化													
●BCP計画の作成、運用													
●保護者への啓発													
●実践に活かせる研修の実施													
●収支改善													
●園児募集の呼びかけ(法人内外) 定員を満たすまで実施													
●園見学、イベント等の企画、招致、子育て世代への啓発活動													

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 品川区立八潮北保育園

目標稼働率 95.0%

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 のびしろプロフェッショナルスクール											
	●人権擁護・虐待防止 ⇒ 事例検討・研修の実施 事例検討会 学校心理 虐待研修 学校心理 事例検討会 学校心理 事例検討会 学校心理											
	●人材確保 ⇒ 働きやすい職場づくり クラスリーダー会議 サブスク検証 サブスク検証											
	●感染症対策・衛生の保持 健康診断 歯科・眼科検診 シャワー浴 シャワー浴 健康診断 歯科検診											
	●収支改善 委託費の計画的な運用											
提出率												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・専門性の向上と個々の職員に必要な研修を個別研修計画に沿って実施 ・モラルやマナー研修の参加、及び実施 ※個別研修計画に関する内容を網羅してください							・外部研修やWEB研修の機会を設定し、必要な基本的知識や技術の研修、キャリアアップ研修等、全職員に合わせたスキルアップが図れる事ができる研修に参加させる ・人として、保育士として、常識や道徳感等今一度見直し、園児、				・保育課主催の『のびしろプロフェッショナルスクール』 ・各機関で行っている『キャリアアップ研修』	
●人権擁護・虐待防止 ⇒ 事例検討・研修の実施 ・事業所内研修として虐待防止研修の実施 ・所内で起きた事例(事故報告やヒヤリハット)を検証 ・障害特性や園児の特性をより理解できるよう、ケース会議やカンファレンスを実施する							・身近で起きた事例を基に検討し、日々の保育や自分の行動を見直す機会につなげる ・児の個性や特徴、特性を理解する為の研修やカンファレンスの実施				・学校心理(年4回) 7/7・9/8・12/16・2/2に実施 ・臨床心理(年2回)	
●人材確保 ⇒ 働きやすい職場づくり ・行事や業務内容、保育体制の見直しを行う ・業務遂行にあたり、必要な備品の整備 ・サブスクの検証							・新たにクラスリーダーによる情報交換の場を設定し、体制や業務の見直しなど迅速に対応ができるようにする ・サブスク導入にあたり、半期に一度検証を行う				職員会議・ケース会議 (第4水曜/月) クラスリーダー会議 (第3水曜/月)	
●感染症対策・衛生の保持 ・感染症拡大防止のための情報収集、自治体や医師と連携しての取り組み、保護者への協力要請、啓発に努める ・環境整備と消毒の実施							・毎月来園される嘱託医や健診で来園される医師との情報共有 ・園の感染状況をその都度保護者向けにお知らせの掲示や保健だよりで共有 ・保育室などの生活空間の掃除や玩具の消毒等実施				健康診断、歯科検診(年2回) 眼科検診(年1回) 0歳児健診(毎月) 健診から虐待の芽に繋がる情報もある	
●収支改善 ・委託費の計画的な運用							・無駄な出費を無くす ・各申請の実施 ・活用できる補助金等の模索					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 八潮わかさ荘

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 デイサービス職員への研修 ワーデンへの情報提供と学習会											
	●BCP訓練 60号棟との総合防災訓練 地域総合防災訓練 合同防災訓練											
	●定期清掃等 福祉工場による定期清掃(毎日)											
	●設備等保守管理 ボイラー性能検査(5月) リフォームは退去時に開始											
	●収支改善 → 共益費による定期的な収入と委託費による運営 共益費(毎月)											
年度												
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成 ・デイサービス職員へ日中の緊急対応等学習会を実施 ・夜間、休日のワーデン向けに、緊急対応や個人情報保護、BCPに対する研修を実施							・ワーデンへの研修は書面での学習になるため、効果測定をおこなう。					
●BCP訓練 ・業務継続計画(BCP)に基づき、入居者の生活が継続できるように支援するとともに、総合防災訓練等参加を促していく ・緊急時の連絡方法の構築							・例年5月の防災協定締結している60号棟との合同防災訓練と9月実施の地域総合防災訓練に入居者の積極的な参加を促していく ・ラインワークス等の活用					
●定期清掃等 ・福祉工場による定期清掃を実施							・福祉工場との意見交換を4半期ごとに実施する					
●その他 設備等保守管理 ・設備全般の老朽化が進んでおり、定期的な点検を実施 ・退去のタイミングで品川区施設整備課主導で給排水設備更新とキッチン・トイレ・洗面所のリフォームを実施する							・毎夕・朝の定期巡回により、詐欺や不審者の侵入防止等防犯につとめ、入居者が安心して生活できるよう支援する					
●収支改善 → 共益費(熱供給費用徴収)による定期的な収入と委託費により運営している							・身寄りない方の退去後の共益費の集金が難しい					

令和7年度年間計画 進行管理表

様式1

事業所名 大井倉田わかさ荘

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成⇒入居者の情報共有											
	●BCP訓練						在宅サービスセンターとの合同の訓練					
	●定期清掃等 福祉工場による定期清掃(毎月)											
	●その他 建物外装等の目視点検							植木の伐採				
	●収支改善⇒共益費による定期的な収入と委託費による運営						共益費収入					共益費収入
後継事業												
事業の概要							執行上の課題および改善策				備考	
●人材育成 ・職員の配置は無く、必要に応じ管理者が対応している。							・併設している、在宅サービスセンターと在宅介護支援センターとも居住者の基本的な情報を共有し、自立した在宅生活が出来るよう支援する					
●BCP訓練 ・業務継続計画(BCP)に基づき、住民の生活が継続できるように支援するとともに、定期的な防災訓練への参加を促してゆく							・5月に居住者と面談し、災害時の行動について個別に情報提供し、非常食などの備蓄などを確認してゆく					
●定期清掃 ・福祉工場による定期清掃を実施(雑草除去、建物廊下部分やドアの清掃、ゴミ収集所の清掃等) ・造園会社に再委託した植栽の伐採							・定期清掃は毎月実施するため、その都度特別に清掃が必要な箇所を伝える ・植栽の伐採は10月から11月に実施するため、9月には予約を入れる					
●その他 ・設備老朽化が進んでおり、退去のタイミングで、区の施設整備課主導で 給排水設備更新とキッチンのリフォームを実施する ・住民間の関係性を整えそるため、日頃からヒアリングを実施する							・毎夕の点検見回りによる情報収集や詐欺や不審者の侵入防止等防犯に努め、入居者が安心して生活を営めるように支援する ・住居内外の設備等不具合については迅速に対応する。					
●収支改善⇒共益費による定期的な収入と委託費による運営である。							・共益費を滞納する居住者もいるため、個別に訪問もしくは書面にて再請求を実施する					

令和7年度年間計画進行管理表

様式1

事業所名 大井三丁目高齢者憩いの場

目標稼働率

月	4	5	6	7	8	9	10	11	12	1	2	3
年間計画	●人材育成 運営委員会開催 役割分担 分担して実行 (運営委員会随時開催) 年間振り返り											
	●高齢者の健康維持と増進、介護・認知症予防の事業実施 定例教室は常時開催。 新規募集教室は、①毎月募集②半期に一度募集③年3回募集											
	●高齢者・障害者・子育て世代・子どもの多世代事業で共助を育む 毎月募集											
	●地域交流の機会の創出 企画準備 連絡調整 広報 こすもすパーティー開催 アンケート作成											
	●収支改善 利用者の獲得(随時、利用者のニーズを探り、要望に応じた企画を検討する) 毎月の広報											
事業の概要							執行上の課題				備考	
●人材育成(プログラムを企画・進行できる職員の育成) ・運営委員で、各プログラムの役割分担を行い、一部職員の負担にならないよう内容を把握、進行することを継続する ・関係者との関わりを良好に継続できるよう、連携を図る							・大井三丁目を中心とした地域の高齢者等の活性化に向けて、所在地域の職員の連携が必要。運営委員会で確認したことを、分担し事業を進める。					
●高齢者の健康維持と増進、介護・認知症予防の事業実施 ・MGIプロジェクト・園芸療法・ピンコロ道場・地域ミニデイ・自分力アップ講座・スマホ個別相談・脳活スマホ&iPad教室等、講師との連絡調整・当日運営・準備から片付け・参加者の状況把握等							・多種多様な教室の開催を、分担し安定した執行を継続する ・利用者との日々のかかわりを大切に、ニーズに合ったプログラム展開ができているか確認を継続する					
●高齢者・障害者・子育て世代・子どもの多世代事業で共助を育む ・ひなたぼっこで、料理と創作をテーマに毎月募集、開催 ・多世代交流を意識した支援と、世代間のギャップを超えて芽生える共助へのサポート							・その都度気づいた地域の課題の共有を行う					
●地域交流の機会の創出 ・こすもすパーティーの開催(地域のニーズをキャッチし、地域区民の交流を行う場の企画開催)							・内容について、6月までに企画し、区との確認を行う					
●収支改善 ・新規利用者の獲得とニーズに応じたプログラム開催、飽きの来ない企画立案 ・プログラムや開催内容の広報・PR							・定員満員または定員以上の参加となるよう、新しい観点での企画を取り入れる					